

講師 江崎美枝子 氏 (県教育委員会人権・同和教育室)

演題 「変わるなら今 自分から」 ～いきいきワクワクのヒント～



認知症や介護についてご自身の体験も含めて、生き方のヒントについてお話いただき、皆さんもたいへん興味深く拝聴しておられました。

江崎様のお父様が「私を観て勉強するように」と言われたこと、先々の準備ために、介護士免許を取られたり、傾聴ボランティア研修に行かれたりされたことなど、たいへん参考になられたようです。また、洗濯の仕方を忘れたり、トイレと風呂を間違えたりなどの具体的なお話のように、現実を受け止めることの難しさも、聴衆の皆さんが切実に感じておられるようでした。

それから、高齢者虐待防止法について、文字通りの理解をしておりましたが、「加害者を罰するのではなく、虐待者を支援する」内容であるというご説明に現実を理解した法であると再認識をいたしました。また、心の応急手当としての傾聴のポイントについては、一つのことを受け止め方とその対応によって、結果が大きく違うことも再確認されているようでした。

日々の生活の中でも「人はもともと他人の話は聞かないようにできている。関心のあることしか聞かない。聞きながら自分のことを考えている。」などは高齢者でなくても一般にあることなので、自分の身に照らして頷いておられるようでした。ひとつひとつ丁寧に、例を交えながらお話いただき、聴衆の皆さんはメモを取りながら納得しておられるようでした。

最後のお話で、日航機の事故で息子さんを亡くされた方が「よく聴いてくれたね。聴いてくれてありがとう。」という言葉が印象に残りました。前回の傾聴のご講話と同様に、自分から研修して心構えをしっかり持つことが大切だと思います。